

令和元年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	岐阜市金町五丁目7番地2		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	337,498,314円(令和元年度、岐阜市民会館と合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	催し広場、小劇場、練習室、展示室、会議室(2室)、音楽関係室(音楽室、音楽スタジオ、録音室)、美術工芸室(2室)、和室(2室)、囲碁室、街並ギャラリー		

●利用状況

		R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期
利用者数(単位:人)		57,727	63,334	79,478	63,637	104,353
各室稼働状況(%)	催し広場	48.1%	37.0%	47.3%	36.2%	62.6%
	小劇場	58.6%	48.8%	62.3%	52.7%	72.8%
	練習室	62.9%	70.9%	75.3%	77.3%	80.4%
	展示室	54.1%	57.1%	51.8%	47.4%	62.1%
	会議室	86.5%	89.7%	93.4%	85.2%	84.0%
	音楽関係室	81.8%	79.4%	92.2%	81.3%	92.9%
	美術工芸室	84.7%	89.7%	97.6%	90.3%	94.1%
	和室	42.9%	49.1%	62.7%	45.5%	66.3%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正な運営を実施した。 ②施設開館時間に人員の不足がないよう、職員11人をローテーション勤務で配置した。適宜接遇研修等の研修を実施し、各業務を適切に実施した。 ③利用者への案内や事業の広報等にホームページを活用した。また年間の広報計画に基づき、広報ぎふやフリーペーパー、さらに有料広告等を活用し、積極的な広報活動を実施した。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、対応した。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座(能楽) ③第41回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ⑥ぎふ演劇ワークショップ2019 ⑦岐阜市中学校美術作品展2019 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑩市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月19日(日) 第12回ぎふジャズフェスティバル実施 1,278人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座(能楽) ・12月10日(火) 能楽出前講座 加納西小学校 97人 ③第41回ぎふアジア映画祭 ・10月13日(日)～11月30日(土) 1,659人 ④市民スタッフ事業 ・12月21日(土) ぎふ文化センター寄席 480人 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ・12月8日(月)第26回採択事業 『声宣会オペラシリーズNo.27 マスネ作曲「サンドリヨン」(シンデレラ) フランス語上演』 258人 ・1月20日(月) 第27回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ2019 ・2月15日(土)・16日(日) 一般の部 38人 ・3月20日(金・祝)～22日(日) 中学生の部 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ⑦岐阜市中学校美術作品展2019 ・市内中学校2校の展示を1月単位で実施 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・10月5日(土) 長森西小学校出前コンサート実施 457人 ・10月18日(金) 三輪南小学校出前コンサート実施 593人 ・11月4日(月・祝) さんぽde野外ライブ ・12月1日(日) 第8回ぎふ市場まつり ・12月18日(水) 第11回ぎふジャズフェスティバル ビデオ上映会 27人 ・12月18日(水) クリスマス・ジャズ講座 255人 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ・1月11日(土) 第14回優秀短編発表会 121人 ⑩市民スタッフ育成事業 ・10月19日(土) 劇場フロントスタッフ研修 ・2月23日(日) 出張研修 バロー文化ホール(多治見市)
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認。 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)の実施。 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)の実施。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手すり、ドアノブ等の消毒を実施。 ②守衛業務 ・定期巡回(午前0時、午前6時、午後7時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務を実施。 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務を実施。 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病虫害等調査・防除業務を実施。 ⑤エレベーター設備保守点検 ・年1回の法定点検及び月1回の定期点検を実施。 ⑥各種点検業務 ・各点検業務委託業者との契約に定められた回数の定期点検を実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施。 ・街並ギャラリー雨漏り修繕 ・北出入口扉東側ガラス取替修繕 ・非常用発電設備修繕 ・掲揚塔修繕 自主点検等による、先を見越した修繕及び、利用者の利便性に繋がる修繕を実施。 ・コンサートピアノ用ベンチ椅子修繕 ・催し広場南東出入口扉ドアクローザー取替修繕 ・音楽室・音楽スタジオシューズボックスの更新
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を実施。 ②独自の危機管理マニュアルに基づき対応している。地震、火災や風水害、事故・事件等を想定し、全ての職員が適切に対応できるよう、来館者・利用者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正な運営を実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・1月4日～2月16日までの施設利用者(団体)126団体にアンケートとして「ご利用者カード」への記入協力をお願いし、98団体からの回答を得た。アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「迅速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・催し広場、小劇場の利用者には通年でアンケートを実施することで、利用者のニーズを把握している。 ・アンケートとは別に、来館者・利用者の意見・要望があった場合には、「ご意見受付シート」を作成し、文化センターで情報を共有するとともに、「ご意見箱」を館内(受付カウンター)に設置し、利用者ニーズの向上や改善に努めている。
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果(1月4日～2月16日) 回収総数 98枚(回収率77.8%) 【使用会場】 [会議室]18.1% [第1美工]17.1% [音楽室]15.2% [音楽スタジオ]8.6% [展示室]8.6% [第2美工]8.6% [小劇場]6.7% [練習室]5.7% [和室(茶室付)]5.7% [催し広場]3.8% [和室(舞台付)]1.9% 【職員の対応】 [非常に良い]65.3% [良い]33.7% [普通]1.0% 【迅速な対応】 [非常に良い]65.3% [良い]31.6% [普通]3.1% 【的確な対応】 [非常に良い]62.2% [良い]34.7% [普通]3.1% 【館内清掃】 [非常に良い]63.9% [良い]30.9% [普通]5.2% 【備品満足度】 [非常に良い]51.0% [良い]34.7% [普通]10.2% [悪い]2.0% [無記入]2.0% 【今後も利用したいか】 [思う]98.0% [無記入]2.0% 【他施設の候補を考えたか】 [考えなかった]69.4% [考えた]23.5% (他施設:岐阜市民会館、じゅうろくプラザ、ハートフルスクエアG、青少年会館、シネックスホール、商工会議所など) [無記入]7.1% 【利用の決め手】 [使用料金]23.3% [交通の便・駐車場]20.7% [岐阜市の施設である]13.8% [利用目的に合う]9.9% [収容人数]9.5% [利用時間]6.9% [附属設備]6.0% [職員の対応]6.0% [知人の紹介]2.6% 等 【当施設を以前から知っていたか】 [はい]90.8% [いいえ]7.1% [無記入]2.0% 【当施設を何で知ったか】 [HP・インターネット]66.7% [知人の紹介・口コミ]33.3%、
利用者からの要望・苦情と対処・改善	アンケート等で利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答している。 (主な意見と対応) ・駐車できる台数を増やしてほしい。 →限られた駐車スペースを使用施設ごとに割り振っているため、各室の駐車場台数は1台となっていることをご理解いただく。 ・ハートフルは、冷暖房費無料となっています。 →他施設は冷暖房費込みの料金設定となっている場合もあるが、当館では条例・規則により施設使用料と冷暖房費が別に設定されていることを説明し、ご理解いただく。 ・展示室の机やイスが傷ついているものがあるので、ひどい場合は交換していただきたい。 →附属の机、椅子については、定期的に確認を行い、順次修繕や更新を行っている。ご意見をいただいた展示室についても改めて確認を行い、状態の悪いものについては修繕を実施した。 ・各階のトイレ(特に女子用)を洋式化してほしい。 →トイレについては、引き続き岐阜市と調整していく。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものであること	文化芸術事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組めているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策(利用者に対するサービスの向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きくかい離していないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な管理運営を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館を合わせた管理運営を効果的に行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用者の安全確保策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、岐 阜市ある いは施設 がある特 定の地域 (以下「地 元」とい う。)の振 興、活 性化など に貢献 できる もので あること	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努めているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関する こと	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 貸館業務 令和元年度下半期において、昨年度比で施設使用料が約200万円の減少となった。その要因は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、2月末～3月の利用の多くが中止・延期となったことである。新型コロナウイルス感染症の終息が予測できない状況となっているため、貸館利用の自粛要請をした際にも、日程変更の相談に丁寧に応じる等コミュニケーションを欠かさず適切なサポートを行い、利用の確保に努めた。 2. 施設管理 開館から35年が過ぎ、施設の経年劣化が進んでいる。下記のような修繕や改善を適宜行い、施設の安全性及び利便性向上やエコオフィスに取り組んでいる。 ①街並ギャラリーの雨漏り修繕や北出入口扉東側ガラス取替修繕などの修繕を適切に実施した。また、施設の安全管理に必要な改修工事に於いては、10年間の優先順位を決めた工事計画を岐阜市に提案しており、必要に応じて岐阜市に工事計画を追加で提案するなど、岐阜市と緊密な連携を取り、施設運営をしている。 ②省エネマニュアルに基づき冷暖房の温度を設定し、冷暖房費の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入することで、電気使用量を適正に管理し、電気料金の節約に努めている。 ③令和2年4月からの敷地内全面禁煙に向けて館内や施設HPにて案内を掲示し、利用者への周知に努めた。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業及び同楽団による「地域貢献」事業では、地域の小学校に赴いて演奏を実施したほか、「さんぽde野外ライブ」「第8回ぎふ市場まつり」等の主催イベントへの出演、ジャズフェスティバルのプレ企画としてクリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。第12回ぎふジャズフェスティバルにおいては1,300人近い来場者があり、地域の活性化に貢献した。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座(能楽)」では市内小学校へ能楽の出前講座を実施し、約100名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。 ③「第41回ぎふアジア映画祭」では、アジア各国の多彩な映画の上映に加え、文化講座や岐阜市出身の漫画家宮川サトシ氏のゲストトーク、タイの伝統音楽・伝統舞踊のロビーコンサート等を実施し、上映作品に関連するアジア各国の文化を紹介した。また、映画祭の開催期間中に1,600人以上の来場者があり、岐阜駅から柳ヶ瀬にかけた中心市街地の活性化に貢献した。 ④「市民スタッフ事業」では、「ぎふ文化センター寄席」と銘打って、昨年に引き続き落語をテーマとした「もういちど 家族落語」の映画上映とともに、岐阜県出身の落語家、昔昔亭A太郎氏と岐阜県在住の講談師、神田昌味氏の公演を実施することで、昨年を超える480名の来場者があった。アンケート結果からも90%以上の満足度を得ることができ、地域文化の活性化に貢献した。 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第26回の採択事業であるオペラ公演の開催を支援した。第27回審査会では、応募があったホール系会場3団体を採択した。 ⑥「ぎふ演劇ワークショップ2019」では、2月には一般の部を開催し、名古屋で活躍する劇作家が指導した。また、3月の中学生の部は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ⑦「岐阜市中学校美術作品展2019」では、各校で特色のある作品の展示を実施した。また、地域の文化である大風の展示を実施するなど、生徒の作品を披露するだけでなく、地域文化を紹介した。 ⑧「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会をリーディング形式で開催した。発表会は121名の来場者があり、受講者、来場者ともに好評で、岐阜の演劇文化の発展に貢献した。 ⑨「市民スタッフ育成事業」では、昨年に引き続き外部講師を招き「劇場フロントスタッフ研修」を実施し、表方業務の理解を深めた。また、市民参加型の伝統文化事業の先進事例を学ぶため、パロー文化ホール(多治見市)で開催された「たじみde和芸」を視察した。 4. 新型コロナウイルスの感染拡大防止にかかる取組み 【自粛要請期間】令和2年2月26日から ①手すり、ドアノブ等の消毒、特別清掃を実施した。 ②適切な手洗い、咳エチケットなどの掲示物やアルコール消毒液の設置をし、来館者に協力を求めた。 ③岐阜市へ貸館状況を毎日報告し、自粛要請期間に利用される場合にはチェックシートの実施等岐阜市からの要請に迅速に対応した。 ④自粛要請の際も利用者に速やかに連絡し、中止や延期などの対応について相談に乗るなど丁寧に対応した。 ⑤新型コロナウイルス感染症の予防対策及び感染症発生時の危機管理対策として業務マニュアルを策定した。 ⑥令和2年度自主事業の実施に向け対応方針を早急に定め、事業スケジュールの見直しや関係者との連絡・調整などに努めた。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	1. 取組状況 上半期には企業等の利用減少や営業活動への注力について意見をいただいた。上半期に実施した利用相談会の来場者に対しては、個別に電話連絡等の営業活動を行い、利用の促進に努めた。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下半期は利用相談会の開催を中止した。利用者には、2月下旬以降は貸館利用の自粛要請を行うとともに、個別に日程変更等の相談に応じ、貸館利用再開後の利用促進と定着に取り組んだ。 2. 貸館業務・施設管理 通年で実施する催し広場・小劇場利用者へのアンケート及び年2回実施する全利用者へのアンケートでは、いずれの項目でも「非常に良い」「良い」「今後も利用したい」の回答を多くいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、さらなる利用者ニーズの向上に努めていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、評価をいただいたように施設の安全に留意し、法定点検以外に定期点検を実施することにより、工事が必要であれば速やかに岐阜市へ提案、修繕が必要であれば優先順位を決め実施し、事故等なく施設運営を行っている。また、地震や火災等を想定した総合防災訓練では、職員の意向を確認しつつ、平日の勤務体制を想定し、より実践的な避難訓練に取り組み、防災危機意識を高めた。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業(指定事業) 「楽市JAZZ楽団」事業において、新規メンバーの加入について評価をいただき、岐阜市の冬の一大イベントへと成長した「ジャズフェスティバルの更なるレベルアップ」について意見をいただいた。1月に実施した第12回ぎふジャズフェスティバルでは1,300人近い来場者があり、ダンスや歌を取り入れるなどエンターテインメント性を高めることで、来場者満足度は97%を超えることができた。 また、次世代の若者に対し、興味、関心を持ってもらう機会として、「能楽出前講座」で小学生に伝統文化に触れる機会を提供するとともに、「楽市JAZZ楽団地域貢献事業」において実施した。市内小学校を対象とした出前コンサートにおいて、二分の一人成式の講演や在校生との共演など、演奏を聴くだけでなく、アーティストと交流する場を提供した。

今後の取組み	1. 貸館業務 利用が再開した際に引き続き利用していただけるよう、臨時休館中についても定期利用団体については日程変更などの相談に応じるなど適切なサポートを行うほか、次回利用相談会でも引き続き実施予定の、音楽室・音楽スタジオを初めて利用する方への利用体験の案内を積極的に行い、更なる定期利用団体を増やしていきたい。 2. 施設管理 ①地下駐車場入口のシャッターが経年劣化により動作不良が発生しているため、修繕を実施していく。 ②屋上に設置されているスプリンクラー設備の配管の繋ぎ部分が経年劣化により、水漏れが発生しているため、修繕を実施していく。 ③展示室などの施設は、窓に網戸が無く換気に適していないため、空気の入れ替えができるように、網戸の設置修繕を実施していく。 ④施設内のレストランの開店に向けて、関係者や岐阜市と協議、調整を進め、課題の共有、解決に取り組む。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、来年1月の第13回ぎふジャズフェスティバル開催に向け、楽団運営を適切に実施していく。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会（琴）」では、7・8月の開催を予定していたが、岐阜市の指示により新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止に伴う業務を進める。 ③「音楽の絵本 プリランテ」では、9月の公演を予定していたが、岐阜市の指示により新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止に伴う業務を進める。 ④「松竹大歌舞伎」では、9月の公演を予定していたが、岐阜市の指示により新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止に伴う業務を進める。 ⑤「第42回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて、市民スタッフと協力して準備とPR活動を進めていく。 ⑥「市民スタッフ事業」では、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑦「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、11月の企画募集に向けて準備を進めていく。また、前年度採択事業3件の公演実施に向けて支援を適切に実施していく。 ⑧「ぎふ演劇ワークショップ2020」では、7月に中学生の部「岐阜県中学校演劇大会」、8月に高校生の部「アマチュア演劇講習会」について、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、岐阜市と協議し、10月以降の延期あるいは中止に伴う業務を進める。 ⑨「岐阜市中学校美術作品展2020」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑩「公共ホール現代ダンス活性化事業」では、10月の実施に向け、アーティストやアウトリーチ先との打ち合わせ、公募ワークショップの準備を進めていく。 ⑪「米村でんじろうサイエンスショー」では、8月の公演を予定していたが新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、岐阜市と協議し、10月以降の延期あるいは中止に伴う業務を進める。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、学校を対象とした出前コンサートの準備を進めていく。 ⑬「戯曲セミナー」では、セミナーを岐阜市のイベント開催自粛要請期間解除を条件に8月から月1、2回ペースで実施していく。 ⑭「→Pia-no-jaC← LIVE 2020 in岐阜」は7月に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、来年3月に公演を延期した。実施に向け、準備とPR活動を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。 4. 新型コロナウイルスの感染拡大防止にかかる取組み ①手すり、ドアノブ等の消毒、特別清掃を実施する。 ②適切な手洗い、咳エチケット等の掲示物やアルコール消毒液の設置をし、来館者に協力を求める。 ③岐阜市へ貸館状況を毎日報告し、チェックシートの実施等岐阜市からの要請に迅速に対応する。 ④自粛要請、休館の際も利用者に速やかに連絡し、中止や延期等の対応について相談に乗るなど丁寧に対応する。 ⑤新型コロナウイルス感染症の予防対策及び感染症発生時の危機管理対策として定めた業務マニュアルを運用する。 ⑥令和2年度自主事業の対応方針に基づき、公演日程の延期など事業スケジュールの見直しや、関係者との連絡・調整等に努める。 ⑦「楽市JAZZ楽団」では、練習を休止するとともに、5月に予定していたオーディションを延期とする。 ⑧「第42回ぎふアジア映画祭」「市民スタッフ事業」では、従来通りの会議が開催できないため、メール・電話等で市民スタッフと連絡を行うなど会議方法を工夫する。 ⑨「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、前期の募集と審査会については中止する。
---------------	---

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

文化センターは開館して35年が経過し、施設・設備機器の経年劣化が進んでいるが、日常の点検業務や計画的な修繕によって施設の維持管理、安全性の確保に努めている。また、異常を早期発見することで、修繕で終えることができ、円滑な施設運営ができていることは評価できる。

指定事業においては、「第12回ぎふジャズフェスティバル」では、ダンスや歌を取り入れるなど、新たな取り組みや工夫を凝らしたことで、来場者数が約1,300人、来場者満足度が97%を超えた。エンターテインメント性を高め、充実したイベントに仕上げたところは評価できる。また、「市民スタッフ事業」では、「ぎふ文化センター寄席」と題し、映画、落語、講談が1日で楽しめる独自性のあるイベントを開催し、480名と多くの来場があった。当日の運営は「司会」「出囃子」などを市民スタッフが担当し、市民ともにイベントを創り上げていく市民協働を実践している。文化の拠点として、新たな取り組みを交え岐阜市の文化の一翼を担っている。

今期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者に対し自粛要請したことにより、前年同期と比べ利用者数、使用料収入が減少した。今後も施設の閉館、自主事業の中止など厳しい状況が続くが、適正な管理運営に期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・利用料収入が大幅に減少しているが、ほとんどが3月での減少であり、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮するとやむを得ないと考えられる。

・自主事業の努力も認められ、市民の文化施設として有効に利用されているが、委託料とのバランスを考えると使用料収入に改善の余地があると考えられる。

・支出は対予算比約98%であり、一定の経費削減努力が認められる。今後もより一層の効率的な業務運営に努められたい。